

作文の役割

盛岡商業高等学校 三年 山館 彪輝

私は作文の役割は自分自身の考えをまとめられることと今までに思いつかなかった新しい考え・意見を見つけられ、それを根拠・理由を用いて論理的に他者に伝えられることだと考える。このように考えられた理由は3つある。

一つ目は頭の中で思っていることを文章にして表すことを自分自身の考えを簡潔にまとめられて整理しやすく自分がどのようなことを思っているかを自分自身に理解させやすいからである。私は小学生の時は自分の主張など意識せずに読書感想文や福祉作文を書いていたが中学生になってからは本自体に強い興味・関心を持つようになり気持ちを込めて読書感想文を書くようになった。最初のうちはある特定の部分をとりあげそこがおもしろかった、悲しかったのような感情だけを書いていただけだったが次第に具体的に本の内容に對する自分の考えや思いついたこと・感じたことを書けるようになった。この時自分の文章を読んでみてそれまでは自分の頭の中でまとまりきらなかった考えが文章にすると単的になり自分がどのような考え・主張を所持しているのかを分かりやすく把握することができた。

2つ目は作文は文章を書いているうちに新しい自分自身の発見・これまでの自分の考えを上書きできるからである。高校生の時読書感想文はあらすじの説明をほとんど書かずにも自分の考えの内容やとりあげたお題を多くそして深掘りして書くことが求められるようになった。読書感想文の条件の基準をクリアしつつ感想を書くため今までは考えようとしなかった事柄をとりあげて文章に表したことで自分が様々なジャンルに対してどのようなことを考えているのかを前よりも多く知ることができた。また多様な自分の考えについて知れたことで今までの自分の考えが更新され新しい考えや内容を深掘りしたことで考えもさらに論理的にし身につけることができた。

3つ目は作文は効率的に自分の考えを論理に基づいて他者に伝えるための有効な手段だからである。私が中学生の時福祉作文で最優秀賞をとり多勢の人の場で発表する機会があった。福祉作文は基本的に長文なため具体的に論理性を持つて主張することが求められる。論理的に構成された考え、主張を福祉作文を通して発表した時多くの人に自分の考えを伝えることができた。このことから作文は意見を論理的に他社に効率よく伝えられるものと分かった。

今までに経験した作文に関する様々な体験を経て考えを他者へと伝え、新しい発見や自分自身を理解するためには作文は適任であると学んだ。

以上のことから作文の役割は自分の考えをまとめ、自己理解を深め、新たな考えの発見、論理的に他者へ伝えることだと考える。

(傍線部分は原文のまま)